1 月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和7年1月22日（水）
開催時間	午前10時00分
開催場所	市役所本館 8階 第2委員会室
出席委員	浦上 教育長 水野 教育長職務代理者 岩井 委員 藤井 委員 近田 委員
出席職員	太田副教育長・塚本教育監・辻内次長・川添教育政策課長・黒井学校教育推進課長・齊藤人権教育課長・山本学務給食課長・辻本教育センター所長・永澤生涯学習課長・谷桂青少年会館長・岸安中青少年会館長、杉島文化・スポーツ振興課次長兼課長

1 { 1 2 月定例会会議録の承認 }

【水野教育長職務代理者】 それでは、1月の定例教育委員会会議を開催したいと思います。よろしくお願ひします。

本日は、浦上教育長が臨時市議会に出席しているため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に基づき、私が教育長職務代理者として、本会議の司会進行を務めます。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の会議録署名委員に、藤井委員を指名しますので、よろしくお願ひいたします。

なお、本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項に規定する定足数を満たしているため、成立していることをご報告いたします。

では、次第の1、12月定例教育委員会会議の議事録の承認について、審議いたします。委員の皆様、何か質疑等ございますか。

【近田委員】 議事録のページ6・7ページにおいて、私が参加した研修の報告として、全国的に学校運営協議会の設置が進んでいることを発言しました。一方、八尾市では、そこまで至っていないことを発言した後、浦上教育長の発言で「数年前からの教育委員会の課題です」「実現に向けて取り組む必要があると感じています」と記載されています。一方で「現在、各中学校区において、学校運営協議会ではありませんが、実際に学校へ地域の方が入り込んで一緒に先生と活動している学校も数校あります。地域共同推進の必要性は、教育委員会事務局も十分認識しておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。」と記載されています。前文では、学校運営協議会の設置は課題であり、進めていく必要があるという解釈であるのか、現状の地域毎の活動で良いという解釈であるのか、浦上教育長に改めて確認する場を頂戴できればと思います。

【水野教育長職務代理者】 ご指摘ありがとうございました。6・7ページの学校運営協

議会に関する浦上教育長の発言に対しての確認ですが、浦上教育長が不在ですので、改めて確認の場を頂戴できるよう申し送りさせていただきます。それでは、確認事項はありますが、全体的には承認ということによろしいでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【水野教育長職務代理者】 全委員異議なしと認めます。よって、12月の定例会会議録につきましては承認と決しました。

2 {教育長及び教育委員の報告}

【水野教育長職務代理者】 それでは、次第2、教育委員の報告に移ります。

教育長は不在ですが、教育長報告はお手元資料のとおりです。浦上教育長が不在ですので、説明は割愛します。

12月 20日 (金)	定例教育委員会
12月 21日 (土)	八尾市精神保健福祉協議会 令和6年度市民大会 (八尾商工会議所)
12月 22日 (日)	NPO法人「輝」主催 門松づくり (来賓・アクトランドYAO)
12月 23日 (月)	「うらさんの部屋」
12月 24日 (火)	「安中の花いっぱい運動」教育長表彰式 (安中小学校)
1月 6日 (月)	部長会
1月 7日 (火)	教育長訓示 (管理職職員対象)
1月 9日 (木)	八尾地区更生保護女性会 令和7年新年のつどい (アウィーナ大阪)
1月 10日 (金)	令和6年度 第5回行財政改革推進本部会議
1月 12日 (日)	令和6年度 八尾市はたちのつどい (八尾市文化会館)
1月 13日 (月)	令和7年 消防出初式 (大阪府中部広域防災拠点)
1月 14日 (火)	八尾地区保護司会「新年交礼会」 (アウィーナ大阪)
〃	八尾体育振興会「新春の集い」 (シェラトン都ホテル大阪)
1月 15日 (水)	定例教育委員協議会
〃	大和高田市からの行政視察 (非認知能力) の受け入れ
〃	映画「かば」上映会 (八尾市文化会館)
1月 16日 (木)	映画「めぐみ」上映会 (八尾市文化会館)
1月 20日 (月)	2025 八尾市女性団体連合会 新春のつどい (八尾商工会議所)
1月 21日 (火)	令和6年度 八尾市国民保護協議会

【水野教育長職務代理者】 それでは、委員の皆様方、この間の活動状況について何かあれば、ご報告お願いします。

【藤井委員】 1月16日 (木)、令和6年度市町村教育委員会研究協議会にオンラインで参加させていただきました。私が参加した研究分科会のテーマは、前半は「不登校対策」

についてであり、後半は「学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行」について他市の皆様と意見交換させていただきました。どの自治体も様々な課題を持っており、自治体によって取り組み方法は異なりますが、課題解決に向けて様々な工夫をされていました。その中でも、私が特に報告したいのは、不登校対策についてです。私のグループは、千葉県市原市の教育委員、東京都西東京市の教育委員、高知県高知市の教育委員、兵庫県宝塚市の教育委員の皆様でした。宝塚市の教育委員の方は、フリースクールを運営されており、非常に細かな取り組みまで発表され、私も含めて、他の教育委員の質問等に対して的確に答えられていました。また、宝塚市内には多くの学習塾があるようで、学校へ行っていない子どもに対して、午前中を中心に勉強を教えている学習塾が多くあるようです。それも子どもの居場所の一つであり、学びの場所になっているとおっしゃられていました。

次に、市原市の教育委員の方は、学校、保護者など主体によって不登校の捉え方が様々であるとおっしゃられていました。そのため、市原市の他にも西東京市の教育委員の方も、研修に力を入れているようでした。研修に力を入れることで、すべての学校で統一した対応ができるためとのことでした。

次に、西東京市の教育委員は、研究協議会の資料にすばらしいパンフレットをご用意されていました。パンフレットのタイトルは「不登校を通して見る子どもの気持ちと保護者の思い。子供の心の成長を考える」という冊子で、全46ページあるのですが、最後のページには相談支援機関などが書かれていました。内容は、学校に登校しないといけないお子さんが歩むプロセスを丁寧に書いておられ、保護者が不安や孤独にならないようにすることを目的として作成されたパンフレットの様です。子どもが歩むプロセスには、混乱期があり、混乱期においても初期と中期と後期があります。また、低迷期があり、そして回復期があるということについて、順を追って説明をされていました。イラストも多く使われており、どのタイミングで専門家に相談する方が望ましいかなども書かれており、非常に参考となる内容のパンフレットでした。

次に、高知市の取り組みでは、不登校の経験をされた方と、その保護者の手記をまとめたものを作られていました。その手記は、高知市教育委員会が作成されたものであり、過去の自分の状況や思い、保護者の思いが綴られているようです。その手記は、当日の資料として配布されていないので、詳細は分かりませんが、数十ページに渡る内容とのことでした。この手記を通じて、気持ちが救われる方もいらっしゃると思いますので、すばらしい取り組みだと感じました。

また、学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行については、各教育委員の都合により、参加人数が少なくなり、十分な意見交換が困難でした。しかしながら、地域連携も地域クラブ活動への移行のどちらも課題であるという認識は、各自治体の共通認識でした。各家庭において、部活動に対する考え方が子どもと保護者で違ってきます。部活動の受益者負担についても賛否両論です。各家庭で受益者負担の考え方が違うことは、大きな課題であるとおっしゃっていました。

後半の報告は概略となりますが、報告は以上です。

【水野教育長職務代理者】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。ないようであれば、次第3の議案審議に移ります。

3 {議案審議}

【水野教育長職務代理者】 それでは、次第3議案審議に入らせていただきます。

なお、本日予定されております報告事項①いじめの重大事態事案についての対応は、八尾市情報公開条例第6条第1号の個人に関する情報であって、当該個人の権利利益を害するおそれがあるものと認められたものに該当するため、非公開とすべき内容となります。この報告については、非公開にしたいと思いますが、委員の皆様、いかがでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【教育長職務代理者】 全委員、異議なしと認めます。よって、本報告につきましては、非公開とすることといたします。議事の進行の都合上、この案件につきましては、他の議案審議が終了した後に行いたいと思います。

それでは、議案の審議に進みます。

議案第1号「八尾市立生涯学習施設の予約・案内システムに関する規則の一部改正の件」について、提案理由を永澤生涯学習課長より説明いたします。太田副教育長と永澤課長は前の席へお越しく下さい。

【永澤生涯学習課長】 ただいま議題となりました議案第1号「八尾市立生涯学習施設の予約・案内システムに関する規則の一部改正の件」について、ご説明申し上げます。本件は、教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第2号の規定により、委員会の議決を求めるところでございます。提案理由でございますが、八尾市立生涯学習施設の予約・案内システムの利用に係る登録申請等の運用方法見直しに伴い、規則の一部を改正する必要がありますので、本案を提出する次第でございます。

まず初めに、「八尾市立生涯学習施設の予約・案内システム」の概要について、説明させていただきます。お手元の議案参考資料「八尾市立生涯学習施設の予約・案内システムに関する規則の一部改正について」をご参照願います。

この「八尾市立生涯学習施設の予約・案内システム」ですが、利用者登録をしていただくことにより、生涯学習センター・総合体育館などの予約申込みや、テニス場・野球場・運動場などの抽選申込みが、パソコン・スマートフォンからインターネットを通じて行うことができるシステムのことをいいます。

対象施設は、生涯学習センター、総合体育館、山本球場等となっており、利用登録者数は個人登録・団体登録を合わせ、約2,000名となっております。

改正の理由については、次のページをご覧ください。

予約・案内システムの登録資格の確認を適切に行うため、登録期間の自動更新に関する規定を廃止し、更新の際にも申請書の提出等を求めることから、申請手続や実費徴収に係る所要の規定整備を図るものでございます。

予約・案内システムの登録資格につきましては、規則第3条に規定されており、個人登録の場合、本市内に居住し、または在勤もしくは在学する者であって、16歳以上である者、団体登録の場合、前号に規定する資格を有する者の相当数で構成される団体で指定管理者が認めるものとなっております。

次に、改正内容について、説明させていただきます。

お手元の「八尾市立生涯学習施設の予約・案内システムに関する規則の一部改正 新旧対照表」をご参照願います。

改正内容につきましては、第4条第3項中「登録日より3年後の年度の末日までとし、有効期間の満了日の1月前までに登録の廃止の申出がない場合は、同一の期間をもって更新するものとする」を「登録日から3年後の年度の末日までとする」に改め、同条第4項を「登録者が前項に規定する登録期間後も継続して登録を受けようとするときは、当該登録期間満了する日の2月前から登録期間の満了する日までに、利用者登録更新申請書に利用者登録カードを添えて、指定管理者に提出しなければならない」に改めるものでございます。

また、同条第5項として、「登録期間満了後、3年経過していない者は、指定管理者の定めるところにより、再登録の申請をすることができる。」

同条第6項として、「登録期間の満了する日までに、登録者がこの規則に規定する更新料を納付しない場合は、登録期間の満了する日以降に、予約・案内システムを利用することができないものとする。ただし、この規則に規定する更新料を納付し、前項の規定による再登録の手続を行った場合は、この限りではない。」

同条第7項として、「第4項の規定による更新者の登録期間は、更新の日から3年後の年度の末日までとする。この場合において、第5項の規定による再登録者の登録期間は、前の登録期間満了日から3年後の年度の末日までとする」の3項を追加するものでございます。

次に、第7条第3項中「再登録」を「利用者登録カードの再交付」に改めるものでございます。

次に、第12条中「及び第3項」を「、第4項及び第5項」に、「または再登録」を「、再登録または再交付」に改め、同条表中「再登録・更新時」を「更新時、再登録または再交付時」に改めるものでございます。

次に、第17条第2項中「及び第12条に規定する費用を、口座振替」を「を口座振替」に改めるものでございます。

なお、この規則につきましては、令和7年1月30日から施行するものでございます。

また、本件については、本来であれば、定例教育委員会で当該規則改正の議案を議決いただいた上で利用者等への周知を行うべきところではありますが、利用者等の利便性を鑑みて、令和6年12月に、予定として利用者等への周知を行っていることを報告させていただきます。

以上、甚だ簡単ではございますが、提案理由の説明とさせていただきます。

よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

【水野教育長職務代理者】 ありがとうございます。浦上教育長がお越しになられたので、司会進行を浦上教育長へ交代いたします。

【浦上教育長】 この後、私が定例教育委員会の司会進行を引き継がせてさせていただきますので、よろしくようお願いいたします。

ただいま提案理由の説明がございましたが、委員の皆様方、質疑等いかがでしょうか。

【岩井委員】 今回、この規則の一部改正に至った理由について、説明がありましたが、これまで登録の更新や継続に当たって、少し不都合なことがあったのかと思うのですが、その状況を登録の資格要件なども含めて、もう一度、詳しく教えていただけますでしょうか。

【永澤生涯学習課長】 今回、八尾市在住・在勤の確認を更新時に行うため、この度、規則改定の提案をさせていただきました。

八尾市外へ転居された場合や八尾市内で勤務していた方が、別の市町村に勤務場所が変わられた場合、確認の方法がありませんでした。八尾市外への転居や勤務となった場合は、ご報告いただくこととしていますが、そのような場合は八尾市の施設を実際に利用することが無くなるため、特に大きな支障はありませんでしたが、八尾市の施設であるため、八尾市内在住・在勤をしっかりと確認すべきということで、今回の議案上程に至りました。

【岩井委員】 利用料金の納付は後納ですが、口座振替です。基本的には口座振替で施設の利用料を納付できている方が多いため、未納は少ないと思います。利用料金は、使用日の翌月の22日に口座から引き落とさせていただき、当日が土曜日や日曜日など金融機関が定休日の場合は、翌営業日に引き落とさせていただいております。

【永澤生涯学習課長】 利用料金の納付は後納ですが、口座振替です。基本的には口座振替の施設を利用される方が多いため、未納は少ないと思います。利用料金は、使用日の翌月の22日に口座から引き落とさせていただき、当日が土曜日や日曜日など金融機関が定休日の場合は、翌営業日に引き落とさせていただいております。以上のことから、未納は少ないと考えられます。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【藤井委員】 現在、利用登録者数が個人登録、団体登録合わせて、約2,000名とのことですが、実際の利用者数は把握されているでしょうか。

【杉島文化・スポーツ振興課次長兼課長】 登録者の大多数がスポーツ施設を利用されています。スポーツ施設利用者につきましては、現在、団体で896件、個人で1,048件、合計1,944件のカード登録をいただいております。その内、令和6年4月から一度もカードを利用して施設予約や申込みをされていない方の割合は、約45%です。その方々の中には、先程ご説明があったとおり、現在カードをご利用されていない、又はカード登録されていることも忘れておられる方等もいらっしゃる可能性があります。そのような状況も踏まえて、適正な管理という観点も含めて、この度の議案上程に至りました。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。

【水野委員】 運用が変わるということで、利用者の方へ事前周知する中で、何か質疑等

は出ていますか。

【永澤生涯学習課長】 各指定管理者から各利用者へ周知等を行っている中で、「具体的に何がどのように変わるのか」というお問い合わせをいただくことがありました。変更点は、できるだけ早く周知させていただいております。月初に申し込まれる方が多いため、1月30日から新たな運用を開始し、事前にご利用いただける機会を設けたところです。

【浦上教育長】 ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。ないようであれば、採決に移らせていただきます。

議案の第1号につきまして、原案どおり可決することにご異議ございませんでしょうか。

【全委員】 異議なし。

【浦上教育長】 全委員異議なしと認めます。よって、議案第1号「八尾市立生涯学習施設の予約・案内システムに関する規則の一部改正の件」につきまして、原案どおり可決いたしました。

では、太田副教育長と永澤課長は自席へお戻りください。続きまして、先程、私が不在の際、12月定例教育委員会議の議事録に関して、近田委員から確認事項があると伺いましたので、もう一度、近田委員からご説明いただけるでしょうか。

【近田委員】 議事録の6・7ページにおいて、私が「学校運営協議会を設置した地域との連携について、八尾市は出遅れているのではないか。」という趣旨の発言に対して、議事録における浦上教育長の発言では「学校運営協議会のことは、数年前から教育委員会の課題です。これは私も実現に向けて取り組む必要があると感じています。」と記載されています。一方、議事録では、その発言の後に「現在、各中学校区において、学校運営協議会ではありませんが、実際に学校へ地域の方が入り込んで一緒に先生と活動している学校も数校あります。地域共同推進の必要性は、教育委員会事務局も十分認識しておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。」と記載されています。この記載について確認したいのですが、「引き続きよろしくお願ひします」という内容は、文部科学省が提言する学校運営協議会の制度を推進していくのか、そうではなく、現状ですでに一部の学校と地域が独自に取り組んでいるので、現状どおり地域と学校間の独自の取り組みでよいと考えていらっしゃるのか。文書では、なかなか読み取りづらいつ感じましたので、確認させていただければと思います。何卒よろしくお願ひいたします。

【浦上教育長】 ありがとうございます。本来は、文部科学省が提言する学校運営協議会、いわゆるコミュニティスクールの設置については、学校だけではなく、地域や様々な団体からご尽力いただき、子どもの育成を図るものです。私は、もちろん推進していくべき内容であると考えていますが、その他の様々な教育に係る諸課題への対応もあるため、現状では、そこまで至っていません。しかしながら、学校運営協議会は推進していくべきものであると考えております。

【近田委員】 分かりました。ご説明ありがとうございます。

【浦上教育長】 それでは、以上をもちまして、公開部分は終了となりますので、傍聴の皆様は申し訳ありませんが、ご退場いただきますよう、よろしくお願いいたします。
議事の都合上、暫時休憩をとります。再開は1分後といたします。

(傍聴者 退室)

(以下、非公開審議)